

「旭小学校の新しい生活様式」(レベル2対応)

※学校の行動基準「レベル2」による改訂箇所は下線部

1 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

- 人(先生・友達)との距離は、1～2mあける。
- 業間・昼休みは校舎内より、できるだけ校庭に出て遊ぶ。
- 会話をするときには、「大声」を出さずに、できるだけ向かい合うことをさける。
- 学校にいるときや会話をするときには、できるだけマスクを着用する。(熱中症に注意)
- 手洗いは、30秒程度かけて水と石けんでいねいにする。(手指消毒液も使うとよい)

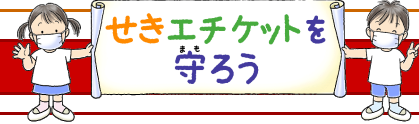


登下校時の感染対策

- 朝起きたら、検温し「健康チェックカード」に記入する。(学校が休みの日も)
- 発熱または風邪の症状がある場合は登校を控える。(欠席にはなりません)
※同居の家族に発熱等の風邪の症状がある場合も、出席停止となります。(本人に症状がなくてもです)
- バスの中では、できる限りマスクを着用する。(忘れたらハンカチなどで口もとをおおう)
- バスの中での会話はできるだけひかえる。
- バスを降りたら班ごとに間をあけて並び、移動する。
※バスの中は、運行会社によって毎日消毒作業が行われます。下校が二度に分かれる場合はその都度実施。



2 学校生活をする上での基本的生活様式



- 「3密」をさける。
 - ・人との間をあける。(できるだけ1～2m)
 - ・人と触れ合わないようにする。
 - ・可能な限り常時、又はこまめに、窓を開けて換気する。(暖房・エアコン使用時も換気)
- せきエチケットを守る。
 - 6つのタイミングで、まめに手洗いをする。
 - ・外から教室に入るとき
 - ・給食の前
 - ・咳やくしゃみ、鼻をかんだとき
 - ・そうじの後
 - ・共有のものを触ったとき
 - ・トイレの後

3 学校生活の各場面別の生活様式

授業中

- 基本的にマスクを着用する。
- できる限り、常に換気する。
- 人との距離は1m以上あける。
- 長時間、近づいてのグループ活動や一斉に大きな声で話す活動等は行わない。【感染リスクの高い活動】
 - ・理科の実験観察
 - ・調理実習
 - ・体育の密集、組み合う運動
 - ・音楽の合唱、リコーダー、鍵盤ハーモニカ
 - ・図工の共同制作
 - 等

給食

- 配膳前に手洗いを徹底し、机・配膳台も消毒する。
- 配膳中もマスクを着用し、会話はひかえる。
- 机の上にはハンカチおいて「咳エチケット」。
- 食事中は、前を向き、大声での会話はひかえる。
- 歯みがきも自分の席で最後まで話さずにする。
- 食後の歓談時は、必ずマスクを着用する。
※体調が優れない時は、給食当番を代わる。

【感染症対策を講じてもお感染リスクの高い活動】
「拡大局面」では停止。「収束局面」ではリスクの低い活動から徐々に実施。

休み時間・昼休み

- マスクは着用したままで過ごす。
- 窓を開け、換気をする。
- 会話は1m以上離れて楽しむ。
- 体がふれあうような遊びはひかえる。



清掃

- マスクを着用して無言で清掃する。
- 窓を開け、換気をよくして作業する。
- 終わったら、必ず石けんで手洗いをする。

体育・業間運動

- 校庭や体育館・プールへの行き帰りはマスクを着用する。
- 運動中はマスクをしなくてよい。
(2m以上離れる・会話は控える)
- 集合したり話し合うときはマスクを着用する。
- 見学者はマスクを着用し、1m以上離れる。
- 共用の用具や施設の使用前後には手洗いをする。
- ※密集する運動・組み合う運動は、行わない。



行事・集会

- 人との距離は1m以上あける。
- 換気を十分ににして、短い時間で行う。
※外部講師にもマスク・検温等の対策を求める。

ブックワールド

- 利用前後に必ず手洗いをする。
- 貸し出しの時は、線にそって、離れて待つ。

